

知的財産権概論 第2回

特許制度は何のため にあるのか？

たくみ特許事務所
弁理士 佐伯 裕子

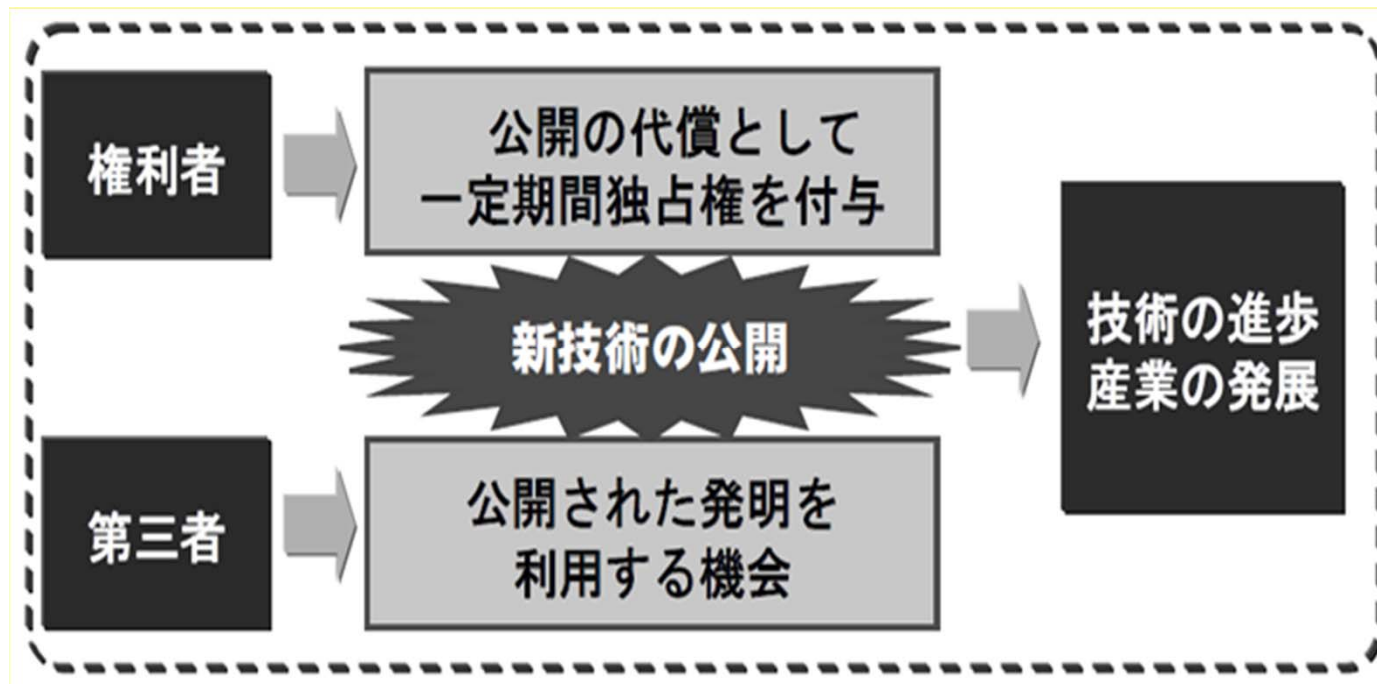
特許制度は何のためにあるのか？

1. 特許制度の役割
2. 特許の排他性
3. 特許と実用新案
4. 特許とノウハウ(営業秘密)
5. 日本と欧米の特許への姿勢
6. 特許を取っておけば・・・

特許制度の役割

特許法第1条(目的)

「この法律は、発明の保護及び利用を図ることにより、発明を奨励し、もつて産業の発達に寄与することを目的とする。」

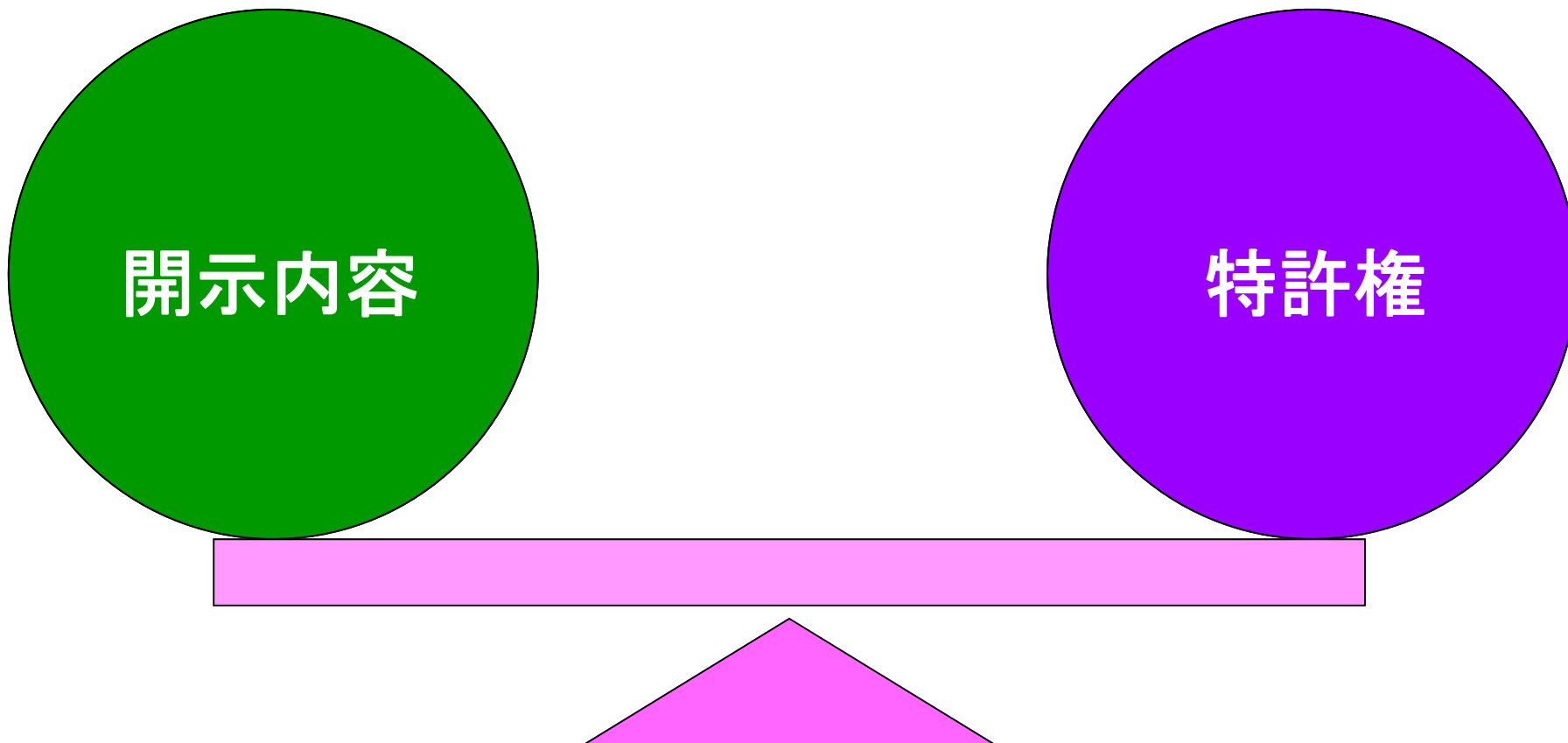


(工業所有権情報・研修館研修用テキストより)

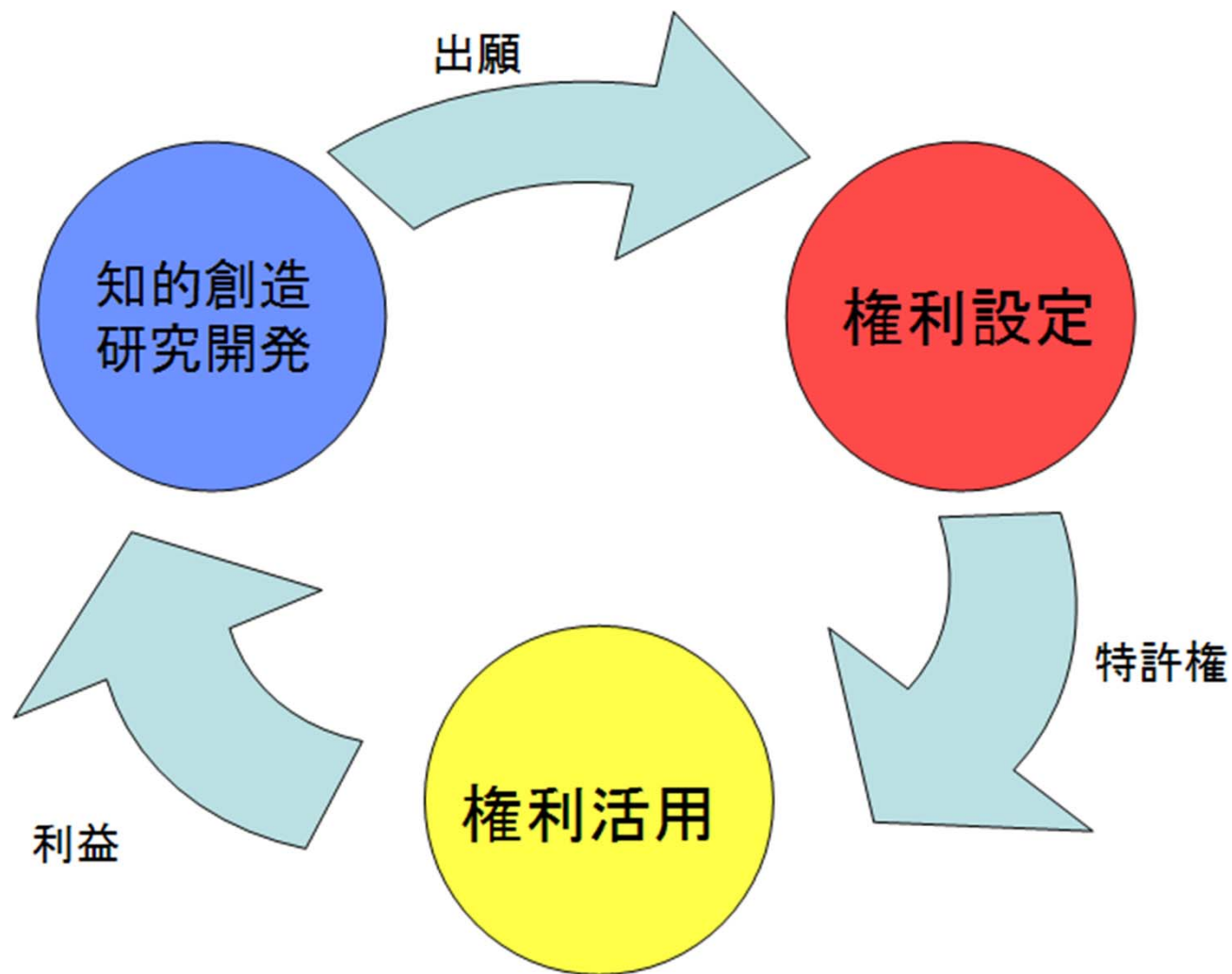
特許明細書の開示と特許権

開示内容

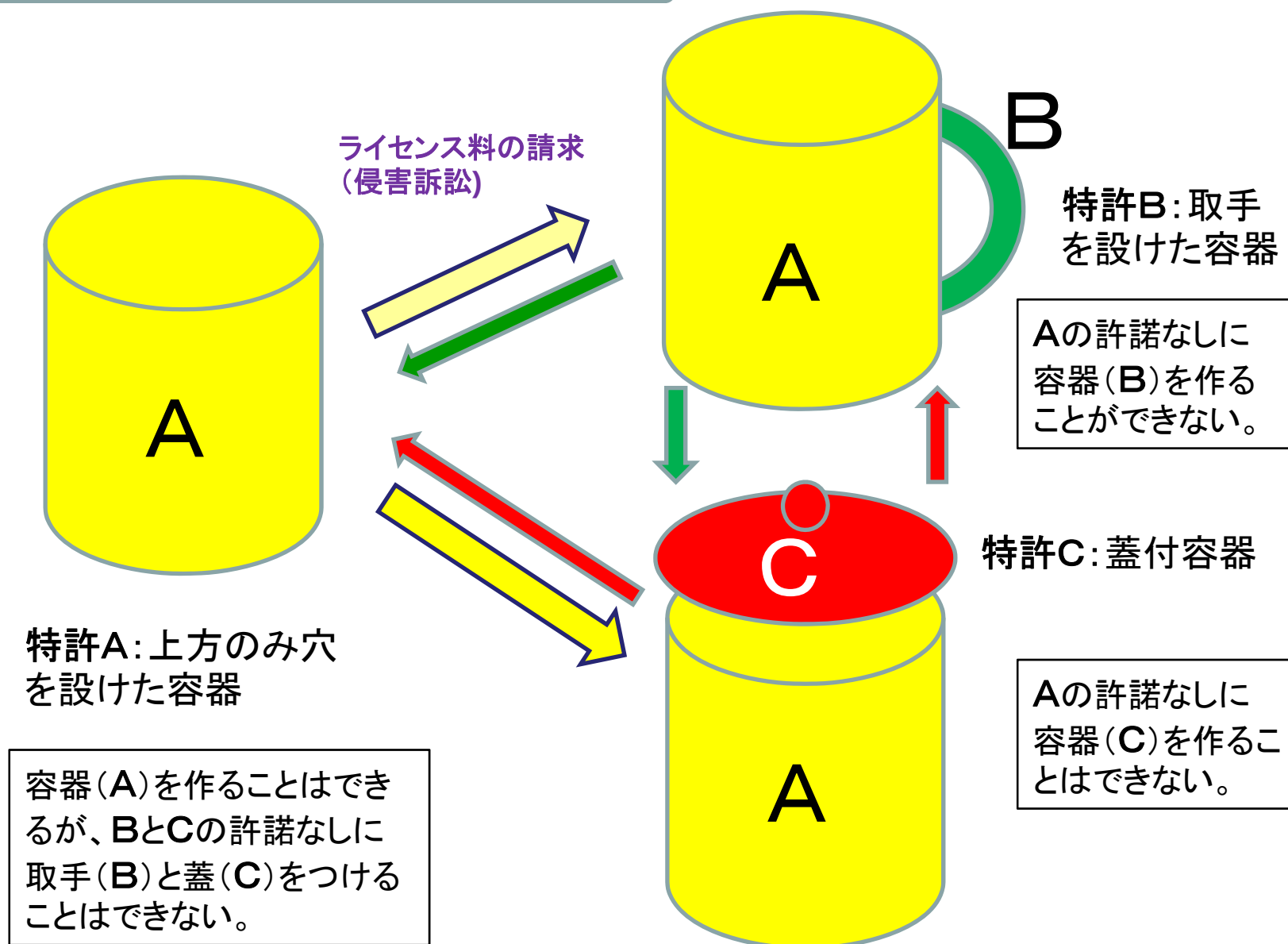
特許権



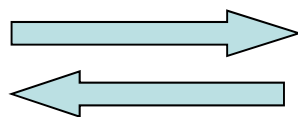
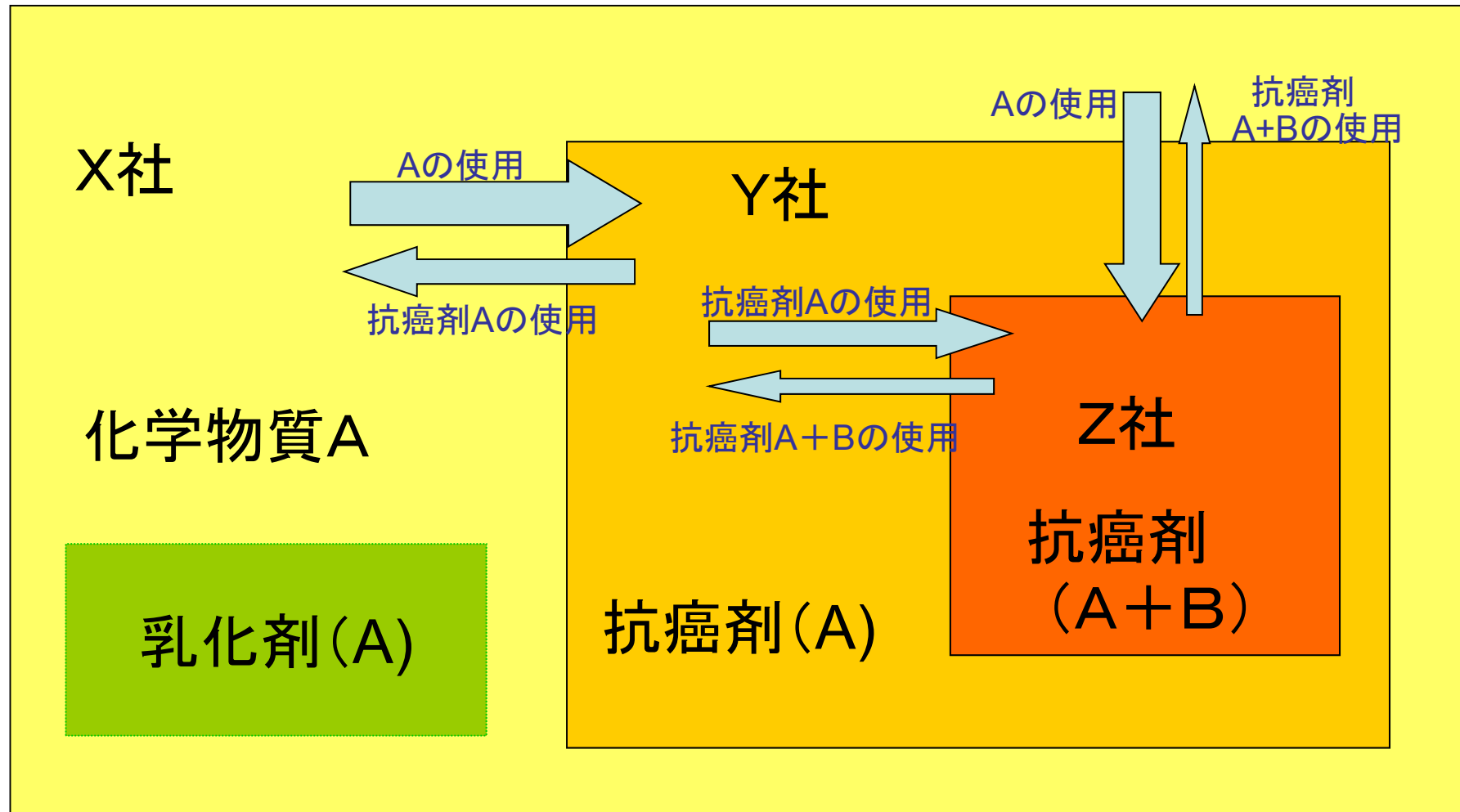
知的創造サイクル



特許権の本質：独占的排他性



特許権の本質：独占的排他権



: 侵害 or ライセンス契約

特許と実用新案

	特 許	実用新案
保護対象	物、方法、物を生産する方法の発明	物品の考案に限定
実体審査	審査官が審査	無審査
権利の存続期間	出願から20年	出願から10年
権利になるまで	審査請求から平均30月 (最終処分まで)	出願から2～3月 (不備のないもの)
費 用 (登録から3年分)	約15万円	約2万円
権利行使	排他的権利	技術評価書を提示して 警告した後でなければ できない
出願件数	年間約34万2千件	年間約8千件

- 早期登録制度の採用
- 紛争解決は当事者間の判断
- 権利行使は当事者責任で

特許出願手数料

出 願 15,000円
 審査請求118,000円+(4,000円×請求項数)
 登 録 2,300円+(200円×請求項数)/年
 (1～3年まで)

実用新案出願手数料

出 願 14,000円
 登 録 2,100円+(100円×請求項数)/年
 (1～3年まで)

技術評価書
 42,000円+1請求項
 につき1,000円

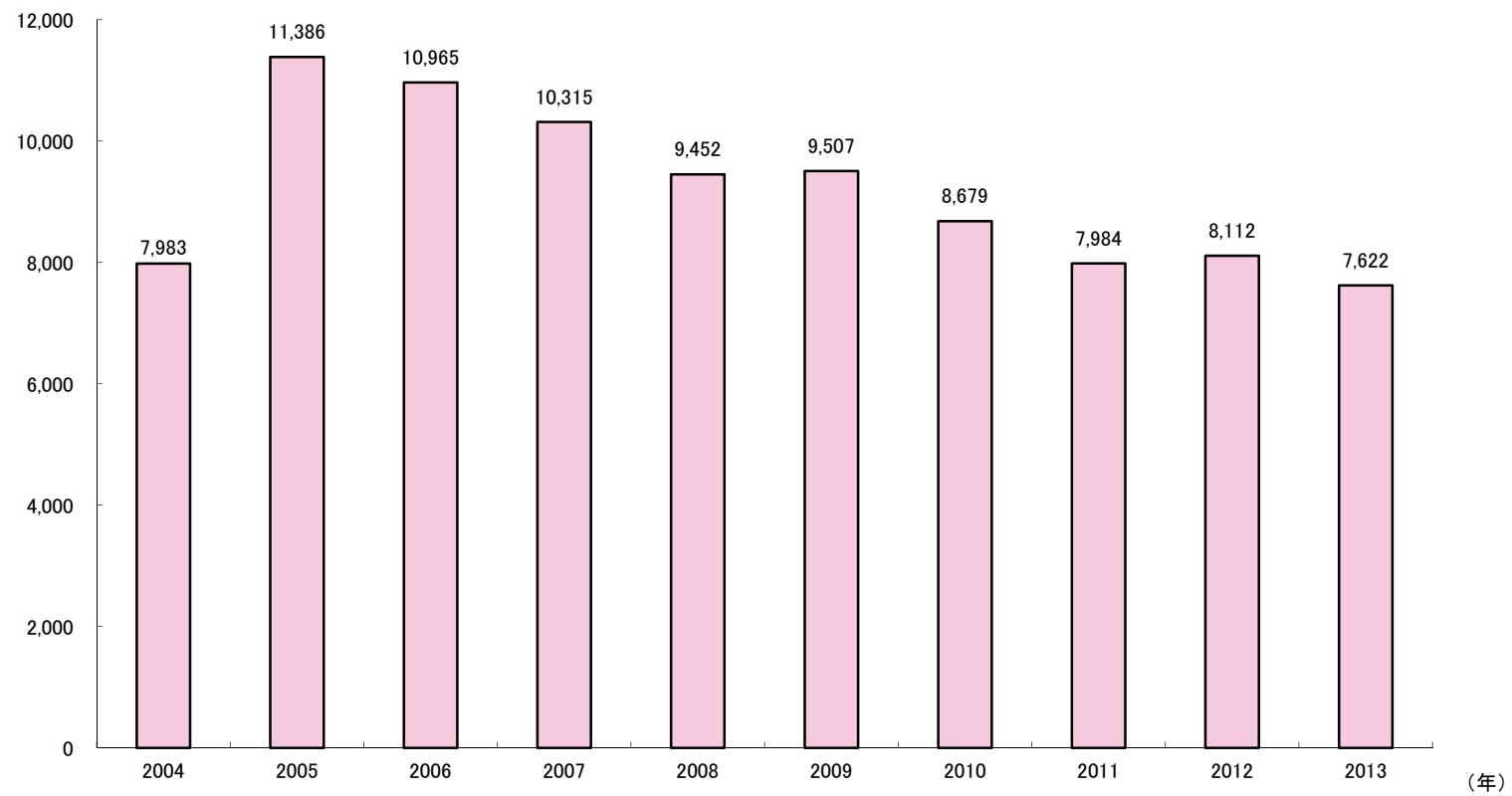
※権利になるまでの期間及び出願件数は2012年の数値。

(工業所有権情報・研修館
 研修用テキストより)

実用新案登録出願件数

(件)

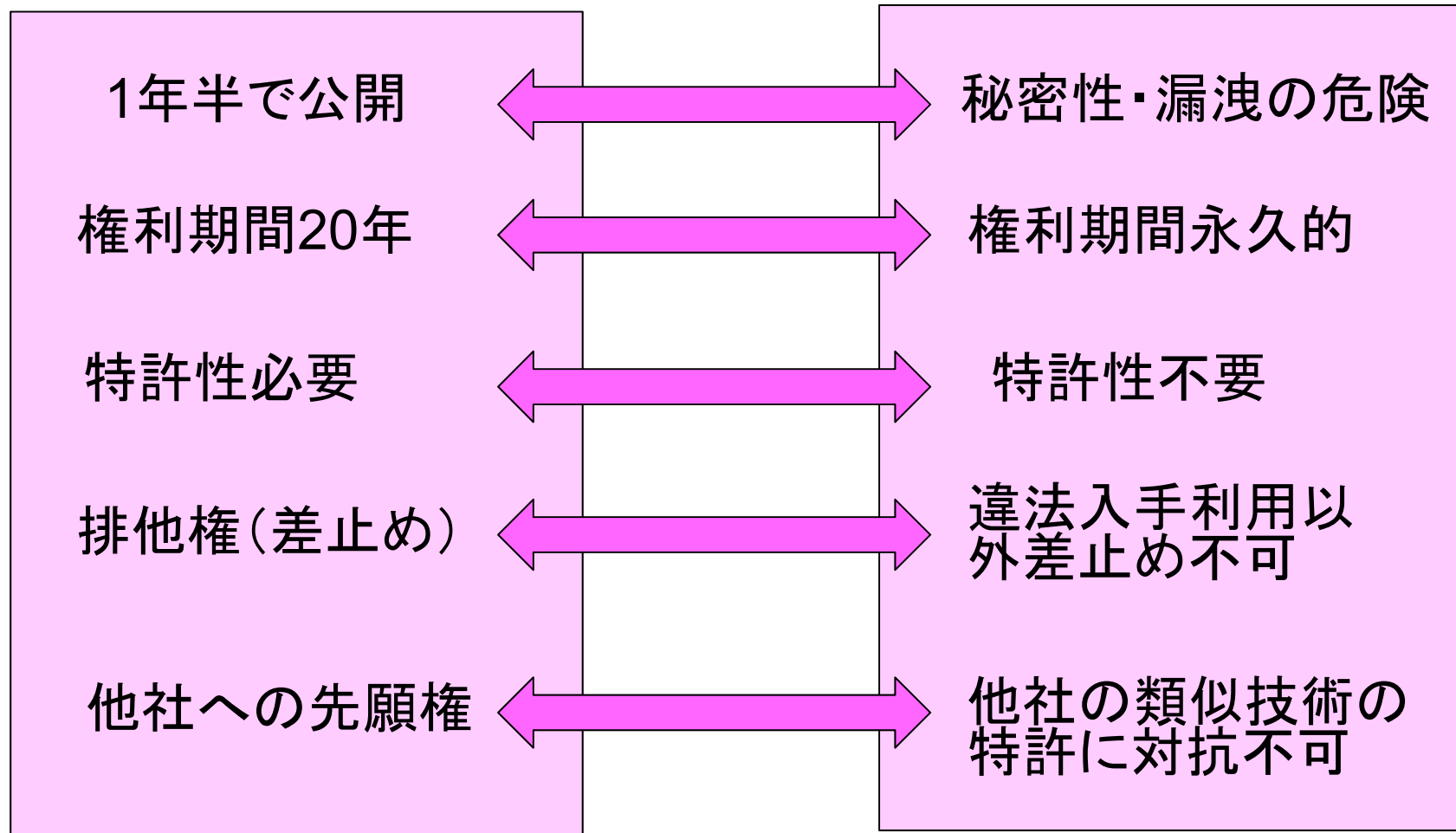
(特許行政年次報告書 2014年版)



特許出願とノウハウ秘匿

特許出願

ノウハウ秘匿



欧米と日本の特許への姿勢(1)

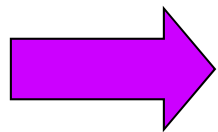
米国の場合

- ・合衆国憲法制定(1787) 第1条第8項第8節

「議会は、科学及び有用な技術の進歩を図るため、発明者に対して一定の期間、独占を与える権限を有する」

- ・リンカーン大統領演説(1958)

「特許制度は、天才の炎に利益という油を注いだ。」**米国商務省入口**



大発明ラッシュ

ベルの電話(1876); エジソンの白熱電球(1879);
イーストマンのコダックカメラ(1888); ライト兄弟飛行機(1903);
ベークランドのプラスチック(1909)

欧米と日本の特許への姿勢(2)

イギリスの場合

- ・独占条例の制定(1624)
- ・ペニシリンの発明と特許

フレミング: (1929論文発表) ← 政府助成金

青カビから殺菌作用のある物質を発見、ペニシリンと命名

特許出願はしたが手続を怠り、基本特許の取得できず

フローリー: ペニシリンの量産化技術の研究開発(1939~)

→ × 英国製薬会社からは拒絶

→ 米国で研究再開、米国企業が多数生産技術特許、

第2次大戦中ペニシリン生産 ← 英 多額のライセンス料支払

- ・発明開発法の制定(1948)
- ・NRDC(英国の発明育成、特許管理のための研究開発公社)設立(1949)
- ・NRDCの民営化(1992)→BTGインターナショナル上場企業(1995)

欧米と日本の特許への姿勢(3)

日本の場合

- 1885年(明18) 専売特許条例の制定 (英から200年、米から100年遅)
- ジベレリン(植物品種改良剤、植物成長促進物質)
 - 1926 黒沢栄一博士 イネのバカ苗病原菌カビの分泌物から発見
 - 1935 藪田貞治郎、住木諭介(東京帝国大)が「ジベレリン」と命名
 - 1958 農業試験場 種なしブドウ
 - 住木博士が、ニューヨーク国際学会に招待され講演で研究成果発表、発表後特許出願 × 自分の研究論文が出願前公知
 -  米国の製薬会社が、ジベレリンの合成樹脂カプセル化特許取得(空気中の酸素による劣化防止)  日本高額ライセンス料
- クロスカップリング技術(有機合成化学の基本技術)
 - 1977 根岸カップリング (有機亜鉛＋有機ハロゲン／Pd触媒)
 - 1979 鈴木カップリング(有機ホウ素＋有機ハロゲン／Pd触媒＋塩基)
 - 2010 根岸、鈴木博士 ノーベル化学賞受賞、特許出願はしていない
- iPS細胞 2012ノーベル生理学賞 山中伸弥博士(京大)
 -  25年度政府予算iPS細胞研究推進費90億円

バイオテクノロジー基本技術と特許

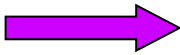
遺伝子組換え技術

基本特許(米国のみ)

- ・1975 コーエン・ボイヤー特許(スタンフォード大)特許出願
 低いライセンス料でも総額約2億5000万ドル

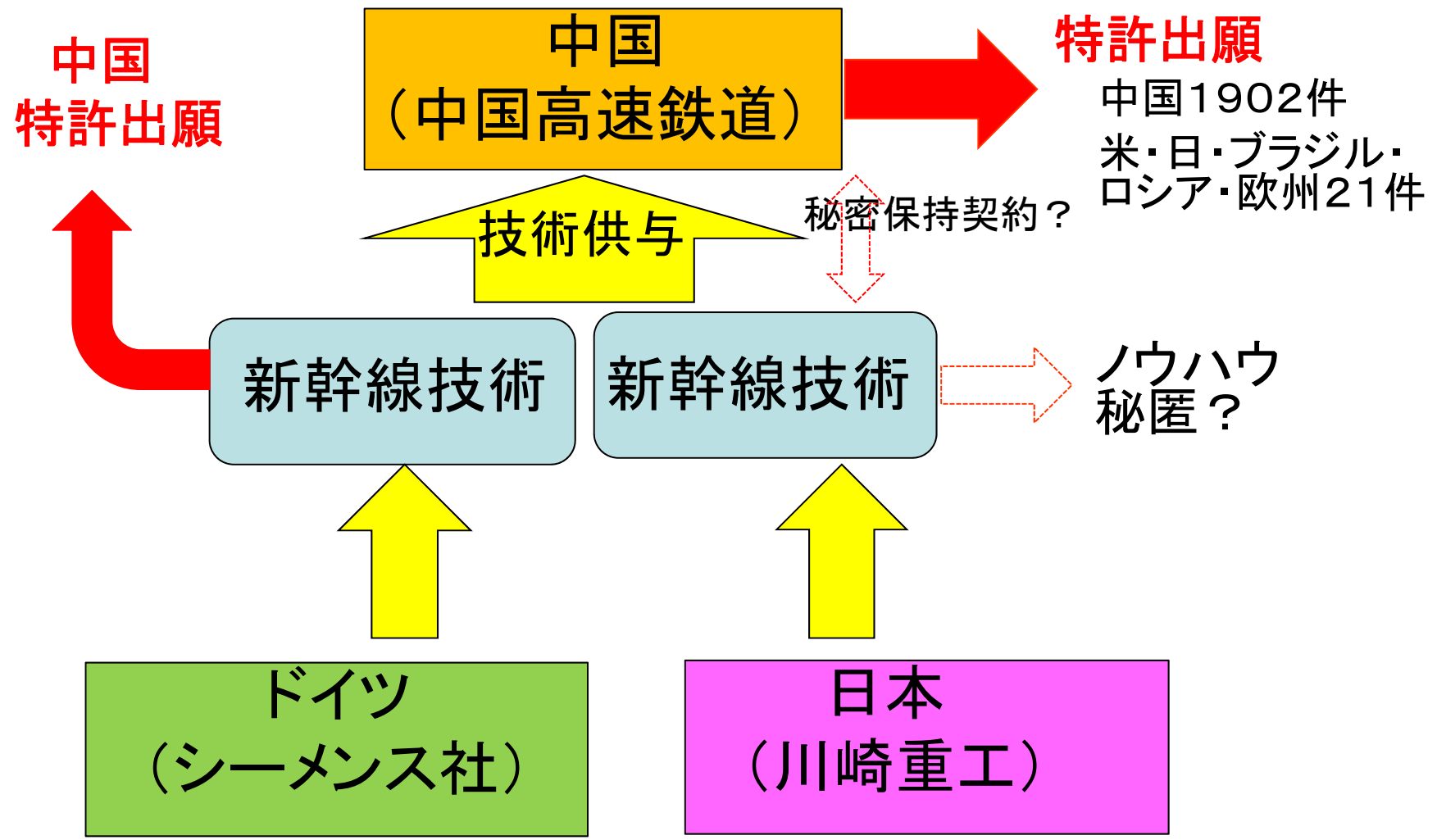
細胞融合技術

基本技術の特許出願なし

- ・1953 センダイウイルスの発見 石田名香雄(東北大)
- ・1956(1957) 岡田義雄(大阪大)による細胞融合の発見
- ・1975 ミルシュタイン、キュラー(英国王立研)
ハイブリドーマ(モノクローナル抗体)作製
 ノーベル生理学・医学賞受賞

中国新幹線特許出願問題

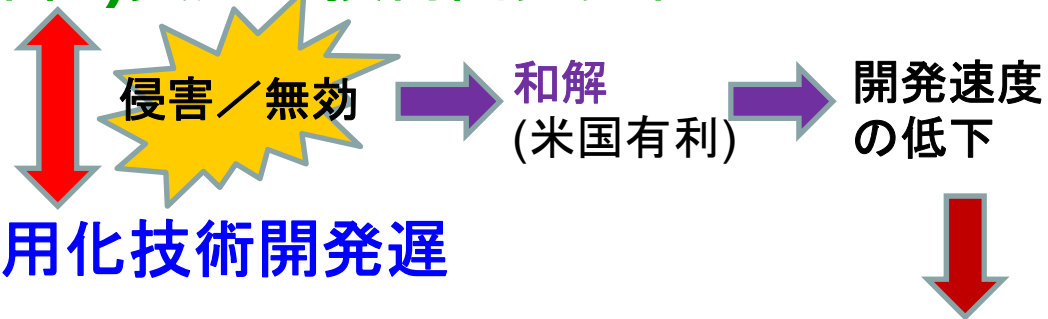
2011. 7. 6
ニュースから



3Dプリンター開発競争

2014.9.16日本弁理士会研修より

- **3Dプリンター基本技術**: 小玉秀男(名古屋市工業研究所)
1980.4特許出願→1981.11公開→1987.4審査請求徒過
1981.4～11月論文投稿、発表、F社見学
1985弁理士登録、転職
- **3Dシステムズ社(米国)実用化技術開発先行**
1984.8～特許出願
- **F社、丸谷(日本)実用化技術開発遅**
1984.5～特許出願



2番手企業の優位性

練習：特許・実用新案・ノウハウ

最も適切だと思う保護の方法は？

- 新しく開発した抗癌剤
- 新しい構造の洗濯ばさみ
- 老舗和菓子店の新製品
- 効率の良いレンズの磨き方
- 新しい機構のエンジン
- 新興国に技術供与予定の社内技術
- 植物から単離した新成分

特許

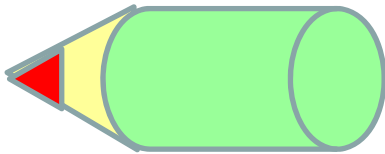
実用新案

ノウハウ秘匿

練習:特許権の排他性

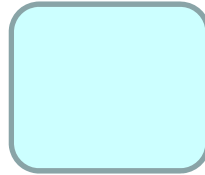
Aさん特許

「鉛筆」



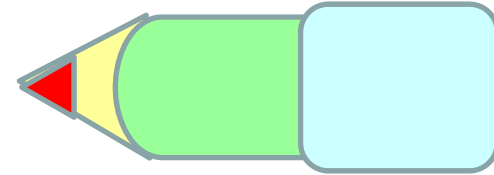
Bさん特許

「消しゴム」



Cさん特許

「消しゴム付鉛筆」



質問:Aさん、Bさん、Cさんそれぞれが独占的に製造・販売できるのはどれ？

今日のポイント

1. 特許制度の役割

特許権  発明の開示  産業の発展

2. 特許権の本質＝独占的排他権

3. 実用新案：無審査、短い存続期間

4. ノウハウ秘匿：秘匿効果、他社との対抗

5. 日本での特許制度の浸透の立後れ